

PRESS RELEASE

2021年8月25日
アルプスアルパイン株式会社

アルプスアルパイン、日本政策投資銀行
「DBJ BCM 格付」において格付を取得

アルプスアルパイン株式会社（TOKYO:6770、代表取締役社長:栗山 年弘、本社:東京、以下「アルプスアルパイン」）は、2021年8月10日付で、株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」）による「DBJ BCM 格付」融資において、「防災及び事業継続への取り組みが優れている」という格付を取得いたしました。

◆ ◆ ◆
「DBJ BCM 格付」融資は、DBJが開発した独自の評価システムにより、防災及び事業継続への取り組みが優れた企業を評価・選定する、「BCM 格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資メニューです。

国内の工場拠点を東北地域に有するアルプスアルパインは、2011年の東日本大震災罹災時には防災及び事業継続対策が奏功し、被害を最小限にとどめ通常の生産ラインへの復旧を極めて短期間で実現するなど、大規模災害においても供給責任を果たすべくレジリエンスを強化してきました。

また、企業を取り巻く事業環境のリスクが多様化する中、事業の継続性を高め、持続可能な社会の形成に向けて、防災・事業継続への取り組みを進めております。

今回の格付では、以下の点を高く評価されました。

- (1) 経営層をトップとする全社危機管理対策本部のもと、災害対策本部の立ち上げ訓練及び全拠点における地震・火災総合訓練を毎年実施することで防災力の実効性向上を図っていることに加え、自治体等と災害時の協力協定を締結し地域防災へも貢献している点
- (2) 発災後の全社稼働開始目標を設定し、自社内代替生産や戦略在庫の確保等を通じて、有事の顧客需要に備えている点
- (3) 供給責任を果たすべく、サプライヤーの生産拠点ごとの自然災害リスク及び在庫保有状況といったリスクの一元管理を行っていることに加え、必要に応じてサプライチェーン対策本部を設置し迅速な状況把握及び指揮命令を行う体制を整えている点

アルプスアルパインは今後とも、企業理念である「アルプスアルパインは人と地球に喜ばれる新たな価値を創造します。」の実現を目指し、さまざまな災害を想定したBCPの構築および、それに基づいたサプライチェーンマネジメントの徹底により製品の供給責任を果たしていくとともに、すべてのステークホルダーの皆さまの期待に応え、事業を通じた社会課題の解決と企業価値の向上に取り組んでまいります。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

アルプスアルパイン株式会社
サステナビリティ推進室 広報チーム
〒145-8501 東京都大田区雪谷大塚町 1-7
TEL 03-5499-8001（広報直通）
hiroaki.goishi@alpsalpine.com